

このマニュアルは、主に siegelさんとワークス片桐さんのブログを参考にして作りました。  
お二人に感謝します。内容は私の備忘録ですので、勝手な解釈と私流の思い付きで書いてあります。

オートモードとは、

線を引く・線を複写する・線を消去する・矩形を書く・円弧を書く・線を伸ばす/縮めるの  
機能を持った1つのマルチコマンドです。(このマニュアルの[P1]~[P4]までのわずかな部分です)

クロックメニューとは

時計の方向にコマンドを配した、JWW独自のコマンドメニューです。  
オートモードとクロックメニューを同列に考えると、ややこしくなりますので分けて考えます。  
そして、よく使うクロックメニューだけ覚えましょう。

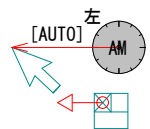
サブクロックとは

コマンドに入った後のサブメニューのクロック版です。(わかりずらい..)  
コマンド毎に違いますが、オートモード派もクロック派もコマンド派も、覚えると超便利です。  
コマンド派の方は、[P5]以降を参照してください

■■ 1・オートモードの基本コマンド

以下の2つのクロックメニューだけは、まず覚えましょう。

画面の空いている任意点で  
左ボタン 9:00方向ドラッグ



この操作でオートモードに入ります  
コマンドの途中でキャンセルする場合も同様の操作です

繰り返し練習のために、「戻る」

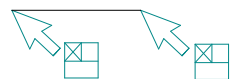


戻る 右ボタン4:00方向ドラッグ

■1-1 水平・垂直線または斜線を書く

- ①左クリックは任意点、右クリックは読み取り点になります。
- ②水平・垂直線と斜線の切り替えは、キーボードの「スペースキー」を押す。

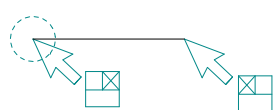
任意点→任意点



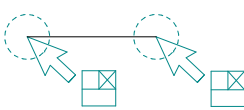
任意点→読取点



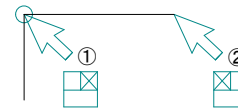
読取点→任意点



読取点→読取点

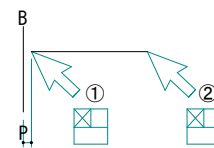


■1-1-2 線記入の注意事項及び応用  
線の端点からの場合

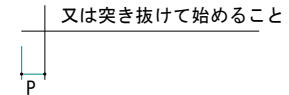


(終点が読み取り点の場合は右クリック)

線上からの場合



<注意> 線Bからある程度離して左クリック  
Pの間隔が狭いと線Bを選択して  
別の処理に入ってしまう



又は突き抜けて始めること  
後で伸縮できる(伸縮の項 参照)

■1-2 四角形を書く

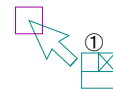
読み取り点のない位置で右クリックすると、矩形コマンドが選択されます。

(数値入力の場合)

②画面上部の寸法に数値を入力

数値入力の方法

横500 縦1000の場合 500..1000と入力  
(テンキーのドットを2回続ける) ↓



任意点へは

- ③左クリックで貼り付け  
基準点を合わせて
- ④左クリックで確定

読取点へは

- ①②同じ ③右クリックで貼り付け ④同じ

数値入力の場合には、  
マウスを動かすことで  
基準点を右記9箇所から選べる

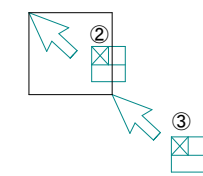
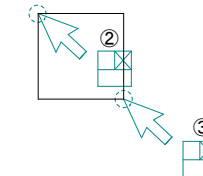
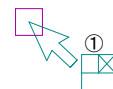


(任意寸法指定の場合)

寸法欄空白ならそのまま  
寸法が表示されている時は  
▼を左クリックして無指定にし、

読み取り点がある場合

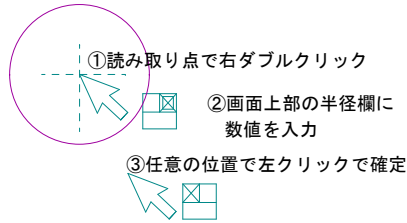
読み取り点がない場合



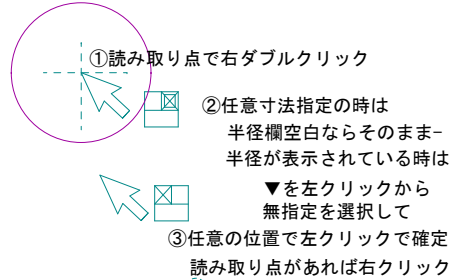
■1-3 円弧を書く 円弧はダブルクリック

(1) 読み取り点の位置で右ダブルクリック (RR) を行くと、読み取り点を中心点とした円弧が書けます

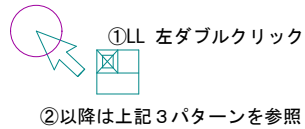
a. 数値入力の場合



b. 任意の大きさの円



(2) 任意の位置に円または円弧を書くときは、線、円、読み取り点以外の位置で、左ダブルクリック (LL) します。

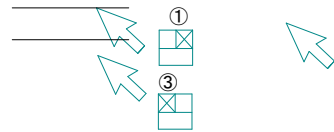


■1-4 複線

線または円を右クリックで指示すると、複線コマンドが選択されます。

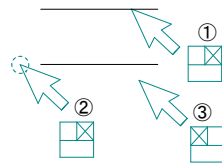
(数値入力の場合)

- ① 右クリックで線を選択
- ② 画面上部の複線間隔に数値を入力 (赤線の仮表示状態になります) (マウスを線の上下に振って方向を決め)
- ③ 左クリック (任意の場所) で確定



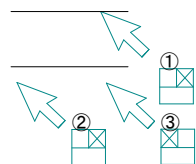
(間隔の読み取り点がある場合)

- ① 右クリックで線を選択
- ② 右クリックで点を読み取る
- ③ 任意位置で左クリックで確定



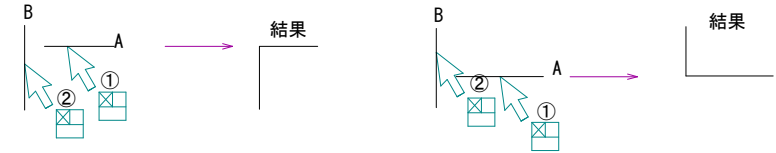
(前回値利用)

- ① 右クリックで線を選択
- ② 任意位置で右クリック (赤線の仮表示状態になります)
- ③ 任意位置で左クリックで確定



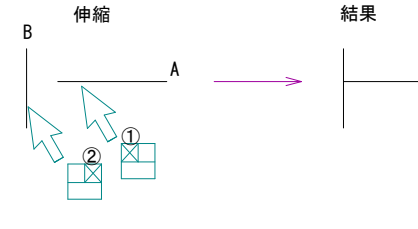
■1-5 コーナー処理

◎A線を左クリック、B線を左クリックで指示すると線のコーナー処理となります。



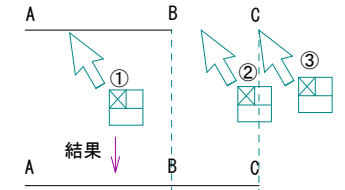
■1-6 線伸縮

◎A線を左クリック、B線を右クリックで指示するとA線がB線まで伸縮されます。

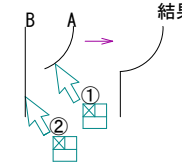


任意点までの伸縮 (伸ばす)

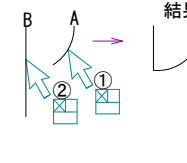
- ① 左クリックで選択
- ② ABの範囲外を左クリック
- ③ 延長したい位置を左クリック (任意点)



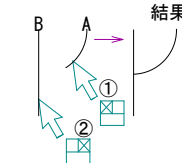
円の場合-1



円の場合-2

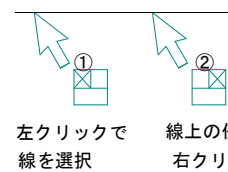


伸縮

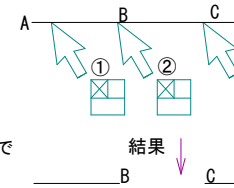


■1-7 線を消去する

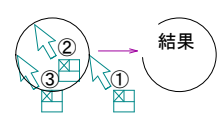
1) 線の全消去



2) 線の部分消去  
線AのB-C間を部分消去

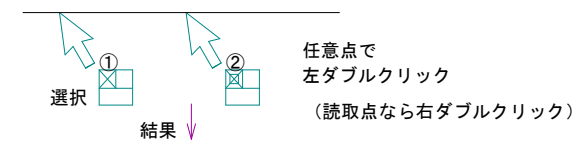


3) 円の部分消去  
反時計回りに消せる



■1-8 線切断を行う

線または円を指示し、切断位置で右または左ボタンをダブルクリックすると、その線または円が切断されます



■ ■ これでオートモードの説明は終了です。次ページからは、クロックとサブクロックです ■ ■

2・コマンド派の初歩の初歩 (この1ページだけです)

2-1 /コマンド (水平・垂直線または斜線)

/コマンドから、**スペースキー** を押すと、水平・垂直線と斜線が切り替わる。  
任意点→任意点      任意点→読取点

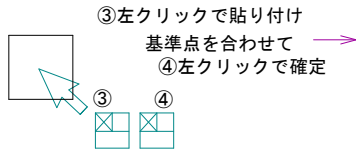


2-2 矩形コマンド

□矩形コマンドを選択する。①

(数値入力の場合)

②画面上部の寸法に数値を入力  
任意点へは



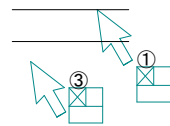
数値入力の方法  
横500 縦1000の場合 500..1000と入力  
(テンキーのドットを2回続ける) ↑

数値入力の場合には、  
マウスを動かすことで  
基準点を右記9箇所から選べる

2-3 複線コマンド

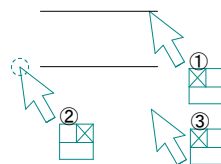
複線コマンドを選択して  
(数値入力の場合)

- ①左クリックで線を選択
- ②画面上部の複線間隔に数値を入力  
(赤線の仮表示状態になります)  
(マウスを線の下上に振って方向を決め)
- ③左クリック(任意の場所)で確定



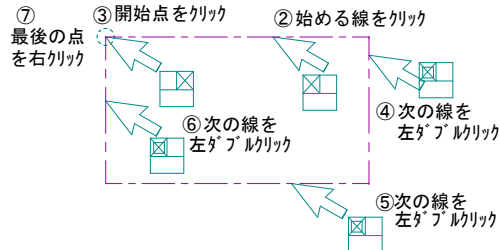
(間隔の読み取り点がある場合)

- ①左クリックで線を選択
- ②右クリックで点を読み取る
- ③任意位置で左クリックで確定



2-4 2線コマンド

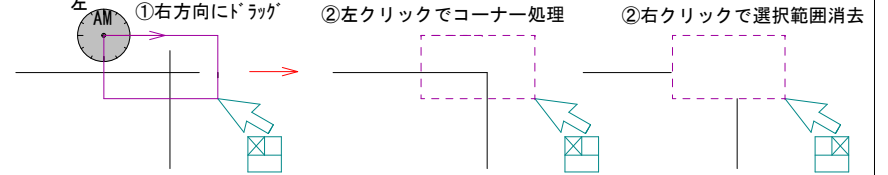
①2線コマンドを選択、  
2線の間隔を入力してから



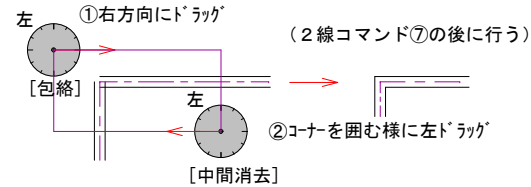
3・最低限覚えると便利なクロックメニュー&サブコマンド

このページからは、コマンド派の方もオートモード派、クロックメニュー派も混在です

3-1 包絡

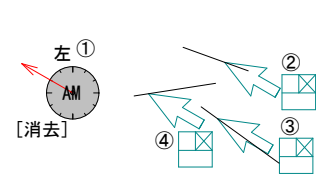


3-1-2 包絡によるコーナー処理

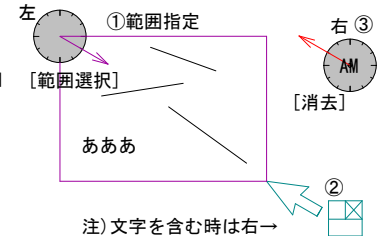


3-2 消去

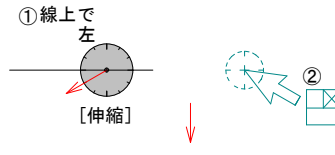
右クリックで1つずつ消す方法



範囲指定してまとめて消去する方法

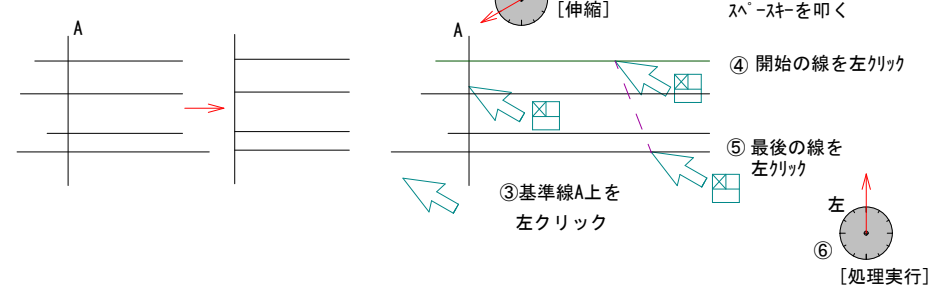


3-3 伸縮

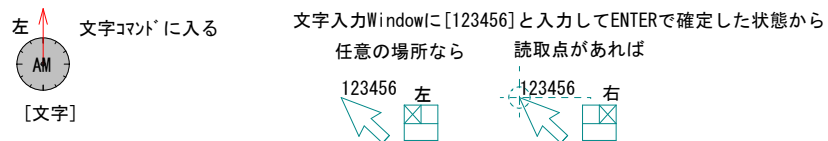


3-3-2 一括伸縮

水平な線の全部を線:Aまで縮める



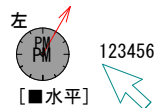
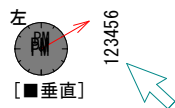
■3-4 文字



■3-4-2 文字角度

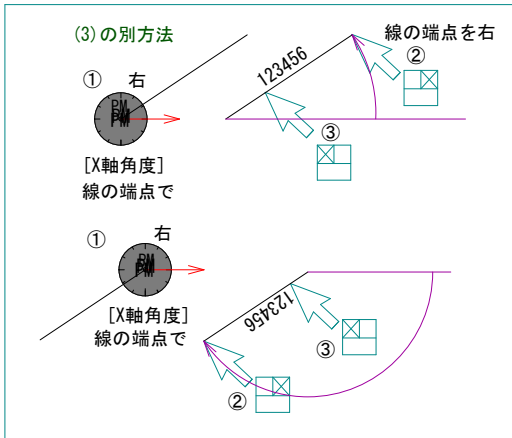
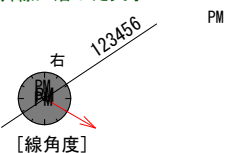
以下(1)~(4)は、上記の文字入力の状態、又は文字確定の状態から

- (1) 文字角度を垂直にする
- (2) 文字角度を水平に戻す

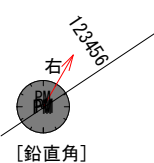


注)PMの出し方は  
左1:00ドラッグで[図形]が出たら  
左ボタンは押えたままで  
そのまま右クリック

(3) 斜線に沿った文字



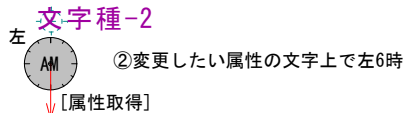
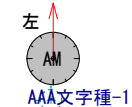
(4) 斜線に垂直な文字



■3-4-3 文字属性取得

AAA文字種-1 の文字を 文字種-2 の文字属性に合わせる

- ①変更したい文字の上で  
左0時 [文字]

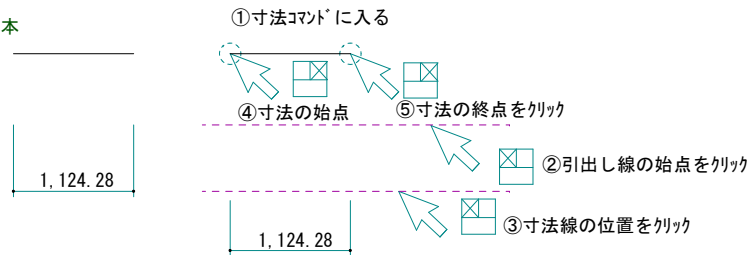


- ③Enterキーで確定

AAA文字種-1 (文字種-2と同じ属性に変わる)

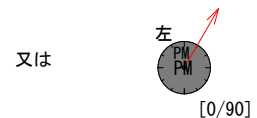
■3-5 寸法

基本

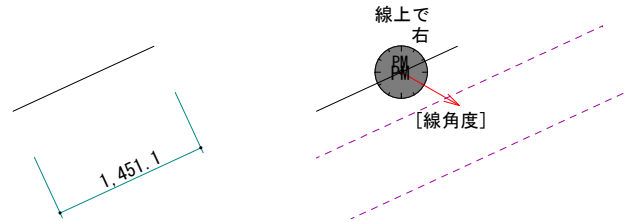


■3-5-2 角度の切替え

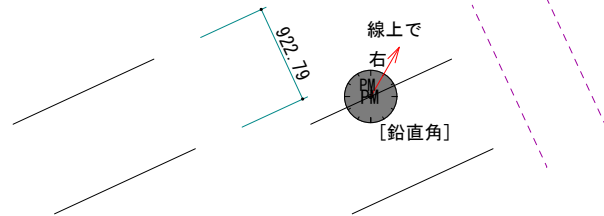
寸法線の 0度/90度 の切り替えは  
[SP] スペースキーで切り替える



■3-5-3 角度のある線の寸法 (線に平行)

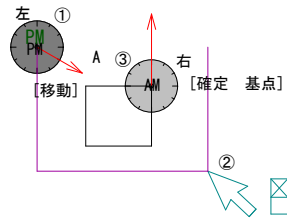


■3-5-4 角度のある線の寸法 (線に鉛直)



■3-7 範囲指定 (移動・複写)

■範囲指定後の基点 移動の例 (複写も同様の操作)  
標準クロック 左PM4時 移動から 範囲指定に入る

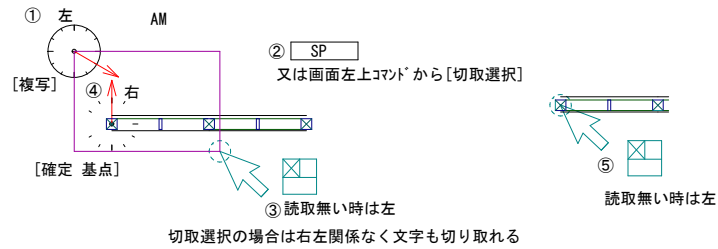


コマンド派の場合 範囲指定をクリックし

- ①範囲指定開始
- ②範囲指定終了クリック
- ③右0時 [確定 基点]
- ④移動 クリック

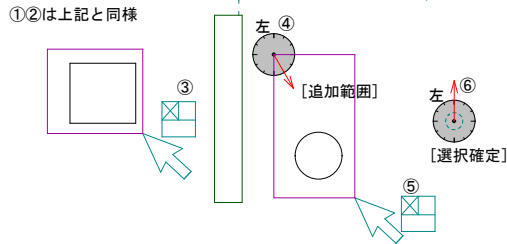
■切取複写

範囲指定部分を切り取って移動・複写

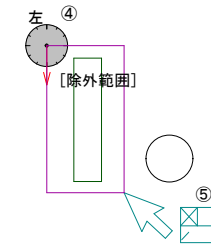


■追加範囲の利用

この部分が邪魔で範囲指定出来ない時

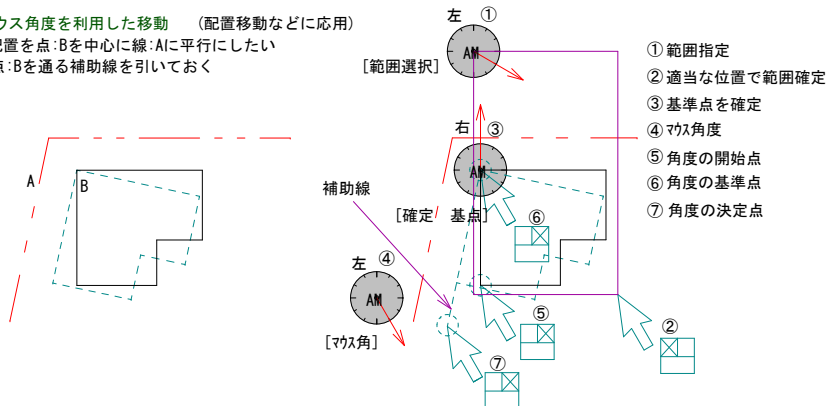


■除外範囲の利用



■マウス角度を利用した移動 (配置移動などに応用)

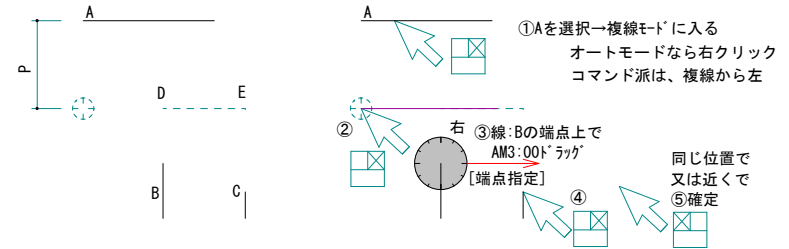
配置を点:Bを中心に線:Aに平行にしたい  
点:Bを通る補助線を引いておく



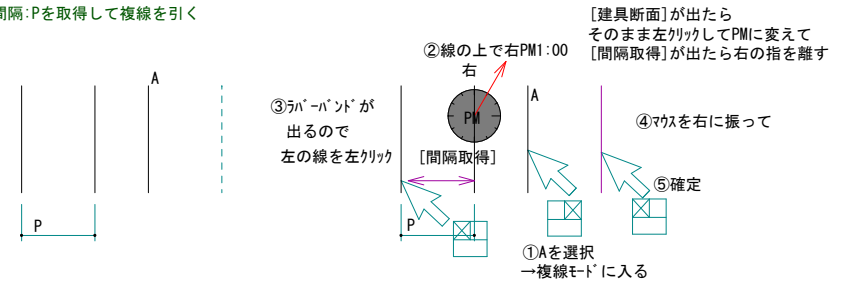
■3-8 複線

■複線の開始位置を指定

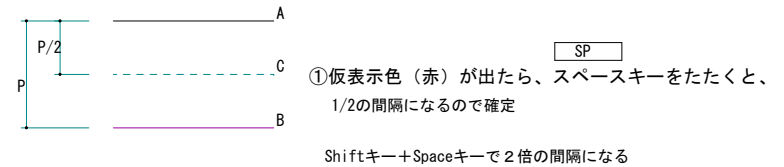
線:Aから間隔Pだけ離れた複線を、BCの延長線上のDEに引く場合



■間隔:Pを取得して複線を引く



■複線間隔1/2の取り方



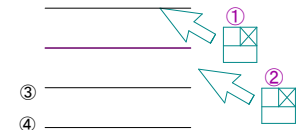
■連続複線

基本設定 → 一般(1)タブ の「複線のとき、数値入力後の[Enter]キーで連続複線にする」にチェック必要

上記の、赤線の仮表示状態のときエンターキー(Enter)を押すと  
連続した複線がひけます

(前回値利用の例)

- ①右クリックで線を選択
- ②任意位置で右クリック  
(前回値で赤線の仮表示状態になります)
- ③ ここで Enter キーを打つと3本目の複線がひける
- ④さらに Enter キーを打つと続けて複線がひける  
(マウスを常に複線をひく方向に置くこと)



(数値入力の場合でも仮表示状態で Enter キー)

■標準クロックとAUTOモード&AUTOクロックの相違-1

コマンド	作 図	標準クロック	AUTOモード
線	線分BCから指示点Aに垂線 (□水平・垂直チェック無) 	線分BCを右AM0時 (鉛直・円周点) 指示点A (R) 	線分BCを右AM9時 (線上点・交点) 指示点A (R) もう一度 (R) 
	指示点AからBC上に垂線 (□水平・垂直チェック無) 	線分BCを右PM1時 (鉛直角) 指示点A (R) からBCへ垂線 	指示点A (R) からBCに斜線 線分BCを右PM1時 (鉛直角) 線分BCへ垂線 
	応用: 斜線に垂直な文字 	上記と同様の操作	
	線分BCに平行線DEを引く (□水平・垂直チェック無) 	線分BCを右PM4時 (線角度) 任意点DからEに平行線 	任意点Dから斜線 (ラバーバンド状態で) 線分BCを右PM4時 (線角度) 任意点Eまで平行線 
	応用: 斜線に平行な文字 	上記と同様の操作	
	線分BCの中心点から線を引く 	線分BCを右AM3時 (中心線・A点) 	

コマンド	作 図	標準クロック	AUTOモード
線	円Oにスナップ (□水平・垂直チェック無) 	円周上で右AM9時 線上点・交点 円周上の任意点をクリック 線上点・交点 右 	円周上で右AM0時 (円周1/4点) そのそばの円周1/4 (1/8) 点に スナップし、線が引ける 
	円Oにスナップ (中心からの線) (□水平・垂直チェック無) 	円O上で右AM0時 (鉛直・円周点) 円周点からの 鉛直線 -可 標準 	円周上で右AM3時 (中心点・A点) 中心点から線が引ける AUTO 
	指示点Aから円Oに鉛直線 (□水平・垂直チェック無) 	指示点A (R) から斜線 円周上で右AM0時 (鉛直・円周点) 	
サブコマンドのまとめ 			

■最後に

オートモードをわかりやすく解説してくれた片桐さん、標準クロックとオートクロックの相違を教えてくださいましたsiegelさんに感謝します。

■その他

レイヤーの×はプロテクトレイヤです。表示・非表示の切り替えができないプロテクトレイヤに設定するには、CTRL+SHIFTキーを押しながら左クリックします。紫色の対角線が2本「×」印で表示されます。